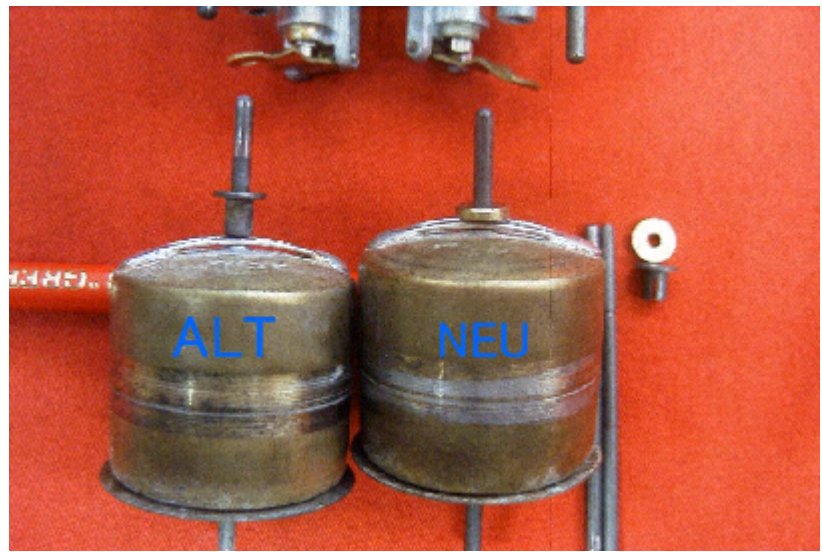


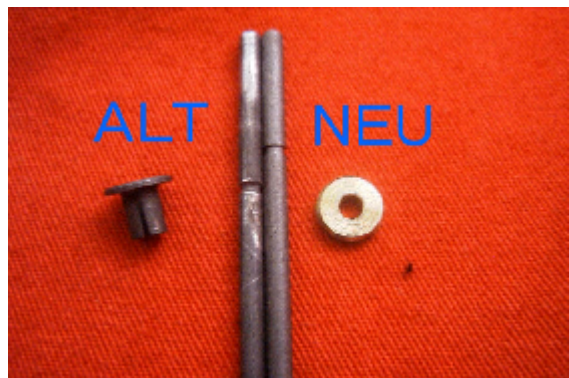
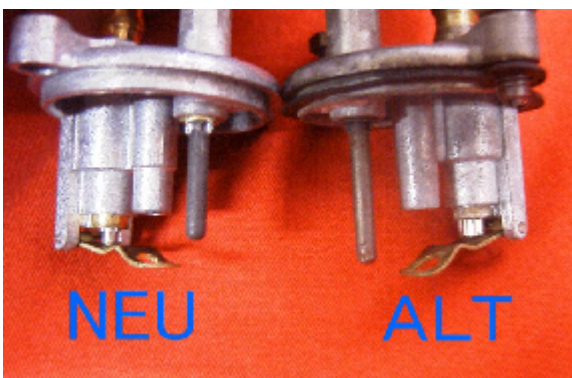
B I N G 後期型キャブレターの仕様変更

BMW R50 - 69S (1955 - 1969)

1967年ごろから油面管理が容易でオーバーフローを起こし難いレバートップ型フロートカバーを装備したキャブレターが採用されましたが。始動困難、アイドル不調、最高速不到達の傾向が表面化したようでその原因として油面（フロートレベル）の設定不良があり、修正するよう案内がありました。



具体的にはフロートレベルプレートの変更（厚さ5.6から1.6ミリ）で油面を4ミリ上げる措置が取られた。交換部品はフロートガイドピン、フロートレベルプレート、フロートカバーです。



実際には油面不良以外に不適切バッテリーによる流入空気の減少、フューエルコックの問題で燃料供給不足なども関わっていたようです。

CRIMECA

BMW ST-257-1.eps

有限会社クリメカ 〒343-0115

埼玉県北葛飾郡松伏町赤井775-2

電話0489-92-2115

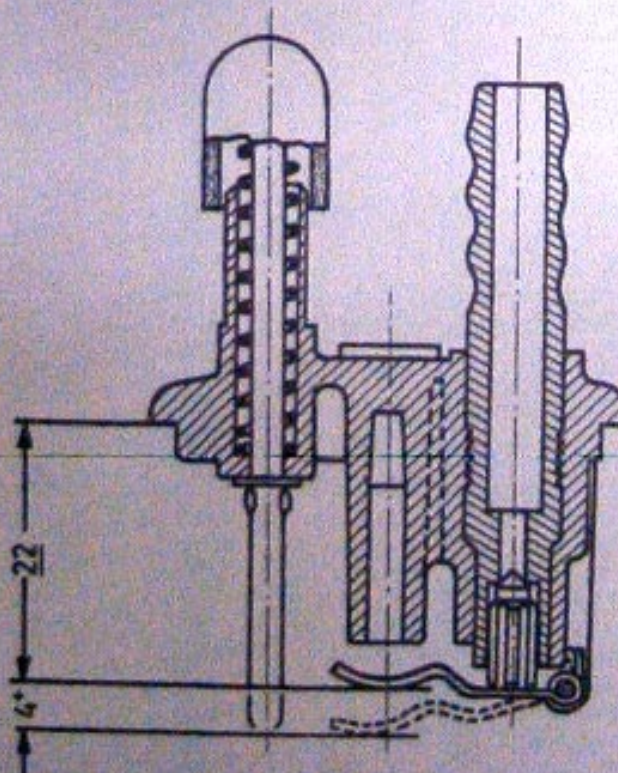
Fax 92-2409

日付	1967・10・20
ナンバー	257-1
モデル	TWIN
グループ	エンジン
タイトル	エアフィルターとキャブレター 補足-1

注意点
新型キャブレターのニードルバルブを修理した場合はフロートレベルを点検するように！！
フロートカバーのフランジ面よりバルブレバー部(バルブOFF時)まで22mm

SERVICE-INFORMATION Motorräder

Nr. 7/67 - Nachtrag I v. 20.9.67



CRIMECA

冊数 SE-257-2.pdf

有限会社クラメカ 〒343-0115

埼玉県北葛飾郡松伏町上赤岩275-2

電話0489-92-2116

Fax 92-2406

日付 1968・06・
ナンバー 257-2
モデル TWIN
グループ エンジン
タイトル エアークリーナーとキャブレター 補足-2

問題点 新型キャブレター装着車について、始動困難、アイドル不調、最高速不到達の傾向が見うけられる。

改善点 対策としてフロートレベルを4mm上げる。
下記の対策を実行してください。

- 1) 対策ガイドシャフト—————1311 1252 178
(従来—————1311 1251 391)
対策プレート—————1311 1252 179
(従来—————1311 1251 392)
- 2) ティクラーシャフトを4mm短くカットして切断面の面取りをする。
または新部品 1311 1252 177に交換

ガイドシャフトに2本の溝があるものは上部の溝を利用する。

エアークリーナー開口部とバッテリーのクリアランスが不足していると、アイドル不調や高回転不調の原因になります。

★必要クリアランス

6Vの車輛 ——— 8mm以上

12V————— 5mm以上

部品番号変更 メインジェット

R60 旧 1311 0039 292 #125
新 1311 0039 147 #125 番手は変わらず

R69S 旧 1311 0039 248 #130
新 1311 0039 141 #130 番手は変わらず